

平成16年（2004年）度特別陳列

千里丘陵の須恵器

—古代のハイテク工場—



吹田32号窯跡出土須恵器器台復元資料

吹田市立博物館

10月16日（土）～11月28日（日）

開館時間／午前9時30分～午後5時
休館日／月曜日・祝日の翌日

◆講演会 11月14日（日）午後2時～3時30分

「摂津桜井谷窯跡群における須恵器生産」

講師／奈良県立橿原考古学研究所総括研究員 木下 亘氏

会場／当館講座室

聴講無料 定員120名（申込不要）

◆展示解説 11月3日（水・祝）午後2時～3時

当館学芸員 当館特別展示室（観覧料が必要となります。）



◆特別陳列展示トーク

「須恵器が焼けた!？」

11月13日（土）午前10時～午後4時

会場／当館講座室

聴講無料 定員120名（申込不要）

◆観覧料

大人 200円（160円）

高大生 100円（80円）

小中生 50円（40円）

*市内在住の65歳以上の方は100円

*（ ）内は20人以上の団体割引料金

*土曜日は市内の小・中学生は無料

吹田市岸部北4丁目10番1号

TEL.06 (6338) 5500 FAX.06 (6338) 9886

<http://www.suita.ed.jp/hak/index.html>

千里丘陵の須恵器

—古代のハイテク工場—

「須恵器」は灰色をした硬質土器で、粘土紐を積み上げた後に轆轤(ろくろ)を使って形成し、山の斜面に築いた穴窯で焼成しました。この高度な製陶技術は4世紀末～5世紀初め頃に朝鮮半島から渡来した陶工たちによって北部九州に伝えられ、主として瀬戸内海沿いに瞬く間に東へ広まり、大阪平野周辺でも須恵器の生産が始まりました。

大阪北部に位置する千里丘陵では5世紀初め頃に最初の須恵器窯が築かれました。吹田32号須恵器窯跡(吹田市朝日が丘町)です。以後、豊中市緑丘5丁目の2-27号窯跡(緑丘窯跡)が閉窯する8世紀中頃までに千里丘陵には約120基の窯が築かれ、全国でも屈指の大窯業地帯が形成されていました。

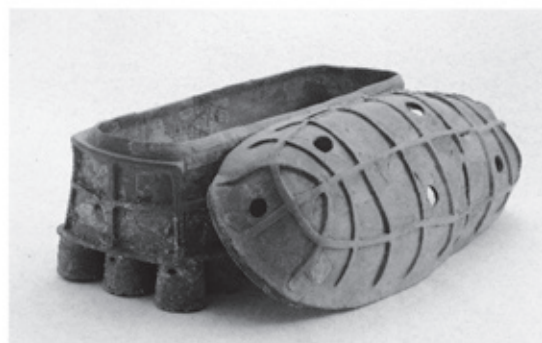
陶工たちは窯の周辺の燃料となる樹木を伐採し尽くすと新たな場所に移動して窯を築きました。現在に残る須恵器窯跡群は、まさしく彼等が残した足跡と言えるでしょう。この展覧会では、千里丘陵に展開した吹田窯跡群と桜井谷窯跡群の発掘調査の成果によって浮かび上がる陶工たちの活躍の姿を描いてみたいと思います。



須恵器器台
(吹田32号須恵器窯跡)



須恵器甕
(吹田53号須恵器窯跡)



中井山3号墳出土須恵質陶棺



桜井谷2-29号須恵器窯跡
(豊中市永楽荘4丁目)

◆交通案内

●JR吹田駅・阪急千里線吹田駅から

桃山台駅前ゆき・山田樫切山ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩10分

阪急山田ゆき・千里中央ゆきバス「岸部」下車徒歩10分

●JR吹田北口から

五月が丘南ゆきバス「五月が丘西」下車徒歩7分

●阪急千里線南千里駅から

JR吹田ゆきバス②、③系統「佐井寺北」下車徒歩10分

●JR東海道本線岸辺駅下車北西徒歩25分

●車でのご来館は五月が丘・佐井寺方面からお願いします

